



しっぽもひと役



【学校教育目標】やさしさと思いやりで、笑顔がいっぱい

～本物の笑顔あふれる山里小～

長崎市立山里小学校 校長 山崎直人

平和の音楽を奏でよう！

11月30日(火)5・6年生のキャリア教育の一環として、ミュージシャンの【上奥まいこさん】をお招きして特別授業を実施しました。

「キャリア教育」とは、単なる仕事紹介ではありません。講師の方の仕事の話は当然ですが、その方の生き方や考え方を生の声としてお聞きすることで、学校や家庭の普段の生活の中では出会うことのない世界の話にふれて、自分の生き方を考えるきっかけにしておうという学びの時間です。つまり自己実現を目指して生きて行くための指針を得る授業であるといえます。

これから子供たちが生きて行く世の中は予測不可能な世界です。コロナ禍により、そのことをありありと感じさせられます。自然災害についても、AIの発達についても変化の度合いとスピードが格段に上がっていきます。どのような世の中になろうとも、たくましく、自分らしく生きて行くためには、「自分の考えをしっかりとつこと」「いろんな人と対話をして理解し合いつながらること」「あきらめずに努力をすること」が必要になってくるでしょう。

そのための一つのきっかけとして、「本物」との出会いを仕組みたかったのです。今回お招きしたのは「本物のプロミュージシャン」です。長崎市出身で被爆3世でもあり、平和の歌を広めたり、SDGsにも関心をもって活動されたりしている【上奥まいこさん】です。

次のようなメッセージが心に響きました。

音楽をやるために東京へ出た。CDを出すまでに10年かかった。10年間やめなかった。一番応援してくれたのは、東京に住んでいる長崎出身の人たちだった。ふるさとの温かさを感じた。

外海中学校の校歌を作らせてもらった。ふるさと長崎の学校の校歌。名誉なことだと感じた。

ラジオで「長崎の海を守ろう」というSDGsに関する番組をもっている。SDGsはこれまでも誰かが一生懸命やってきたこと。その延長にある。それを広げていくことが大切だ。

東京では8月9日11時2分にサイレンは鳴らない。誰も黙祷しない。それが衝撃だった。そのことをきっかけに祖母に戦争や原爆の話聞くようになった。そうして「影おくり」という歌ができた。

「平和、それは〇〇〇」を考えてほしい。そして伝えてほしい。伝えることが大切だ。自分に何が表現できるかを考えてほしい。

この時間で感じてもらったことを何かもって帰ってもらえたらうれしい。家族でも話をしてほしい。長崎から県外へ、共に平和の思いを運んでいこう。

4曲の歌も披露していただきました。

「外は雨」
「光る外海のうみ」(外海中校歌)
「影おくり」
「路面電車は夢をのせて」



充実・感動の90分でした。授業参観として保護者の方にも参加いただきありがとうございました。